

プログラム

子宮頸がんに関するシンポジウム 「Women Against Cervical Cancer in Japan」

2014年6月20日(金) 14時00分～19時00分

会場:ベルサール八重洲 Room D・E

【主催】 「WACC in Japan」 実行委員会

【共催】 公益社団法人日本産科婦人科学会・公益社団法人日本産婦人科医会・公益社団法人日本婦人科腫瘍学会・子宮頸がん征圧をめざす専門家会議

【後援】 公益社団法人日本医師会・公益社団法人日本看護協会・公益社団法人日本小児科学会・一般社団法人日本小児科医会・日本癌学会・一般社団法人日本婦人科がん検診学会・公益社団法人日本女医会・国連人口基金東京事務所・NPO法人キャンサーネットジャパン・一般社団法人がん哲学外来・市民のためのがん治療の会・NPO法人広島がんサポート・一般社団法人 Plus Action for Children・NPO法人子宮頸がんを考える市民の会・一般社団法人リボンムーブメント・一般社団法人Stand for mothers・一般社団法人シンクパール・NPO法人ラサーナ・よつばの会・らんきゅう*卵宮・認定NPO法人乳房健康研究会・NPO法人奈良ピンクリボンアピール・NPO法人乳がん患者友の会きらら・ねむの会・特定非営利活動法人あおもり男女共同参画をすすめる会・ピンクリボンin SAPPORO・ピンクリボンえひめ協議会・NPO法人女性医療ネットワーク・性と健康を考える女性専門家の会

開会挨拶 高久 史磨 (日本医学会 会長)
今村 定臣 (公益社団法人日本医師会 常任理事)

Part 1 (14:10 - 15:30)

座長: 宮城 悦子 (横浜市立大学医学部がん総合医科学 教授)

基調講演 「子宮頸がん予防の重要性 ～命を救い、家族を守る～」
小西 郁生 (公益社団法人日本産科婦人科学会 理事長)

「慢性疼痛とは何か——その原因と治療法について」
三木 健司 (尼崎中央病院 整形外科部長)

「世界における HPV 感染と HPV 関連がんの疫学・公衆衛生」
ザビエル・ボッシュ (スペイン・カタルーニャがん研究所 がん疫学研究プログラム部長、世界保健機関理事)

「日本の HPV 感染と子宮頸がんの疫学および子宮頸がん検診と HPV ワクチンの受容性」
シャロン・ハンリー (北海道大学医学研究科総合女性医療システム学講座 特任助教)

「オーストラリアにおける HPV ワクチン政策と推奨その評価」
ジュリア・ブラザートン (オーストラリア国立 HPV ワクチンプログラムレジスタ部長)

休憩 (16:30 - 16:40)

Part 2 (16: 40 - 18: 20)

座長： 今野 良（自治医科大学附属さいたま医療センター 産婦人科教授）

「子宮頸がんが及ぼす患者と家族の悲しみ」

阿南 里恵 ・ 米山 大志

「子宮頸がん治療の悲惨さと私たちの苦悩」

近藤 一成（NTT 東日本関東病院 産婦人科医長）

「HPV ワクチンの効果と安全性——世界に広がるインパクト」

ザビエル・ボッシュ（スペイン・カタルーニャがん研究所 がん疫学研究プログラム部長、世界保健機関理事）

「HPV ワクチンの接種率向上をめざして—接種差し控え前に高い接種率を達成した栃木県事例を中心に—」

鈴木 光明（自治医科大学産科婦人科講座主任教授/公益社団法人日本産婦人科医会 常務理事）

「HPV ワクチンの安全性とそれを巡る今日の逆風について」

松本 光司（筑波大学医学医療系産科婦人科学 准教授）

パネルディスカッション (18: 20 - 18: 50)

「誤解を超えて、命と家族を守る—私たちの悲鳴と願い」

今野 良 ・ 宮城 悦子 ・ ザビエル・ボッシュ

指定発言：患者団体 ・ 啓発団体 ・ 三原じゅん子（参議院議員/ご依頼中）

閉会挨拶 野田 起一郎（近畿大学 前学長）

* プログラム内容や順番は、演者のご都合で変更することがございます。ご了承ください。